

咲かせよう、3つの花

- ✿ やさしさの花
- ✿ まなびの花
- ✿ がんばりの花



北九州市立筒井小学校  
文責 校長 古賀弘子

## 平成31年度（令和元年度）全国学力・学習状況調査の結果の報告と今後の取組について

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、平成31年4月18日（木）に、6年生を対象として、「教科（国語，算数）に関する調査」と「児童質問紙調査」を実施いたしました。この度、本年度の調査結果を分析し、今後の取組についてまとめましたので、お知らせいたします。学校の現状を知っていただくとともに、ご家庭での取組の参考にしていただきたいと思います。なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。本校では、他の教科等も含め、総合的に学力向上を目指しています。

### 1. 教科に関する調査結果の概要

| 教科 | 学力調査の分析（傾向や特徴）   |
|----|--|
| 国語 | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 全体的によくできており、特に「話すこと・聞くこと」、「読むこと」の領域は正答率が高かった。無解答も全体的に少ないが、漢字を正しく書く問題は無解答率が高く、課題がある。</li> <li>● 目的や意図に応じて自分の考えの理由を明確にし、まとめて書く問題も正答率が低かった。</li> </ul> |
| 算数 | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 無解答が全体的に少なく、記述式の問題にも粘り強く取り組んでいた。</li> <li>● 「数と計算」「量と測定」「数量関係」については、よくできていたが、「図形」領域は、正答率が低かった。</li> </ul>   |

### 2. 学校での学習活動、家庭での生活習慣等に関する調査結果の概要

- ・自分の考えがうまく伝わるように工夫して発表したり、話し合う活動を通じて自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると回答した児童の割合が高い。
- ・「家で自分で計画をたてて勉強している」と回答した児童の割合は、全国平均と比べると高いが、「学校での授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）1時間以上勉強している」と回答した児童の割合は5%で全国平均と比べると低い。
- ・「毎日決まった時刻に寝る・起きる」「朝ご飯を食べる」と回答した児童の割合は高く、基本的な生活習慣は身に付いていると考えられる。
- ・「将来の夢や目標をもっている」の項目に肯定的回答をした児童の割合は全国平均より高いが、「自分にはよいところがある」の項目で肯定的な回答をした児童の割合が低い。

### 3. 調査結果から明らかになった課題解決のための重点的な取組

#### ① 教科に関する取組（全校で・学年で・学級で）

- **基礎的・基本的な知識・技能の確実な定着**
  - ・朝の活動「チャレンジタイム」では、曜日ごとに内容を決めて全校一斉に同じ取組を継続して行う。（月曜日：算数、火曜日：読書、水曜日：計算、木曜日：造形タイム、金曜日：音読・視写）
  - ・1年生は多層指導モデル（MIM）、2年生は計算ドリル、3年生以上は、学力定着サポートシステムを活用し、児童のつまづきを分析し指導に生かす。
  - ・授業の中で、「話し合う活動」「書く活動」を位置付け、終末では、児童が学んだことを振り返ることができるよう、「振り返り」の時間を確保する。
- **自尊感情の向上に向け、道徳や特別活動、縦割り活動などの充実を図る。**（外部講師や地域人材の活用）

#### ② 家庭生活習慣等に関する取組

- **家庭学習の充実**
  - ・家庭学習は概ね定着しているため、今後は自主学習により一層取り組むよう、よい取組のノートの掲示を行い、自主学習への意欲を高める。
- **メディアとの接触時間の再考**
  - ・1日の生活の中でのテレビやビデオ、携帯やスマホに費やす時間が長いことが、家庭学習の妨げになっていると考えられる。メディアとの接触時間の見直しや携帯・スマホの使い方については、学校だよりや懇談会、外部講師を招いての講演会など、様々な機会をとらえ、保護者へも啓発を行っていく。